

## 『必要なことは、ただ一つだけである』

(ルカによる福音書 10章42節)

これは、以前、宣教師として日本に来ていたアフリカ人の神父さんがしみじみと、打ち明けてくれたお話です。来日して間もなく「神父さん、私の家に遊びに来て下さい」とある日本人の御家庭に招かれたので、楽しみに出かけたところ、神父さんが到着するなり、次から次へと、素晴らしいごちそう、食後のデザート。お風呂はすぐに入れるようにしてあり、客間にはキッチンと布団が敷いてありました。しかし、神父さんを自宅に招いてくれた奥さんは、台所にこもったまま。神父さんは、しかたなく、黙々と、食事をしていたということです。

食事が終わると「神父さん、今日はお疲れでしょうから、どうぞ早くお休み下さい」と言われたので「いえいえ、お疲れになったのはあなたでしょう」と思わず口にしてしまいました、とのこと。「多分、奥さんは私との会話を楽しむことよりも、何とか接待を無事に終わらせることに、夢中だったようでした。私は、ゆっくりとお話をして、もっと親しくなりたい。ただ、それだけだったのですが・・・」

新約聖書に記されているマルタとマリアの物語。イエスさまをもてなすために、忙しく立ち働く姉マルタ。反対に妹のマリアは、イエスさまのそばにすわったまま、その話に聞き入っています。堪忍袋の緒が切れたマルタは「主よ、わたしの妹はわたしにだけ、もてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃって下さい」と妹マリアへの文句を、イエスさまに告げ口します。

ところが、イエスさまは、妹マリアを注意するどころか、姉マルタに向かって、次のように言われたのでした。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない」。(ルカによる福音書10章41節 - 42節)

さて、みなさんは、マルタさんタイプですか、それともマリアさんタイプですか。私たちは、時にこのマルタさんのように、仕事熱心さのあまり、他人の心を思い遣ることができなくなり、知らず知らずのうちにマリアさんのような存在を批判してしまったり、傷つけてしまうことがあります。そんな時、このイエスさまのこの言葉を思い出しましょう。「必要なことは、ただ一つだけである」。

キリストの平和

(チャプレン 日本聖公会 司祭 藤井 尚人)